

■西村伊作 建築家、教育家。新しい住宅の伝道者として一世を風靡、自由教育実践めざした{文化学院}では苦勞。

にしむらいさく

秩父事件・ ・ 1884 = 和歌山県新宮横町仲之町で、代々学問を尊重する大石家 で新宮教会創立者余平の次男に生まれる。キリスト教信者の父から、聖書に登場するアブラハムの子イサクにちなんで、伊作と名づけられる。

この間、両親とともに母の実家の奈良県下北山村の大山林家西村家の養子となるも、キリスト教信仰に関わる父がトラブルとなって、再び新宮に戻り、一家で名古屋に移住、

帝国憲法発布 1889 = 5歳：

大津事件・ ・ 1891 = 7歳： 濃尾大地震で両親を失い、
大本教・ ・ 1892 = 8歳： 母方の祖母に引き取られ、西村家に入籍。のちに"偉大な人物"と評するほどの大山林家の祖母に継ぎ、

郡司千島探検 1893 = 9歳：

日清戦争始・ 1894 = 10歳：

日清戦争終・ 1895 = 11歳： アメリカ留学から帰国した叔父大石誠之助に引き取られて、強く影響を受け、

子規句歌革新 1898 = 14歳： 叔父誠之助の計らいで、叔母が住む広島 の私立名道中学校に入学し、

教科書疑獄・ 1902 = 18歳：

日比谷公園・ 1903 = 19歳：

日露戦争始・ 1904 = 20歳： 叔父が食生活改善を啓蒙する{太平洋食堂}を開く。叔父が支援する堺利彦らの{平民文庫}を行商。

日露戦争終・ 1905 = 21歳：

満鉄発足・ ・ 1906 = 22歳： 終戦で帰国すると、故郷新宮に、我が国最初のバンガローを建築。新宮来訪の与謝野寛と接触、

韓国反日暴動 1907 = 23歳：

アラビ 創刊・ 1908 = 24歳：

伊藤博文暗殺 1909 = 25歳：

韓国併合・ ・ 1910 = 26歳：

大逆事件判決 1911 = 27歳：

明治天皇没・ 1912 = 28歳：

大正政変・ ・ 1913 = 29歳：

第一次大戦始 1914 = 30歳：

21ヶ条要求・ 1915 = 31歳：

民本主義・ ・ 1916 = 32歳：

ロシア革命・ 1917 = 33歳：

本格政党内閣 1918 = 34歳：

ハルビン条約・ 1919 = 35歳：

大暴落・ ・ ・ 1920 = 36歳：

原敬首相暗殺 1921 = 37歳：

水平社結成・ 1922 = 38歳：

関東大震災・ 1923 = 39歳：

護憲三派圧勝 1924 = 40歳：

治安維持法・ 1925 = 41歳：

円本時代始・ 1926 = 42歳：

金融恐慌・ ・ 1927 = 43歳：

世界恐慌・ ・ 1929 = 45歳：

海軍軍縮条約 1930 = 46歳：

満州事変・ ・ 1931 = 47歳：

国際連盟脱退 1933 = 49歳：

日中戦争始・ 1937 = 53歳：

健保+総動員 1938 = 54歳：

大政翼賛会・ 1940 = 56歳：

日米開戦・ ・ 1941 = 57歳：

創価学会検挙 1943 = 59歳：

敗戦・ ・ ・ 1945 = 61歳：

新憲法公布・ 1946 = 62歳：

新憲法施行・ 1947 = 63歳：

三大事件・ ・ 1949 = 65歳： デザイン科設置。

独立回復・ ・ 1951 = 67歳：

国連加盟・ ・ 1956 = 72歳：

安保闘争・ ・ 1960 = 76歳： 自伝「我に益あり」を出版して、

TV宇宙中継始 1963 = 79歳： 校長のまま、没した。

田中修司「西村伊作の楽しき住家」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、